

木馬会会報 (第86号)

＊スプリンターズS特集＊



97/12/12

～木馬達の予想～

本紙 トゥインクルダンディ

◎タイキシャトル ○エイシンバーリン

△スギノハヤカゼ、キステナ、キョウエイマーチ、フラワーパーク、
シンコウフォレスト、ワシントンカラー

タイキシャトルはどこまで強くなるのだろうか？1,200mでもっとも恐いのが出遅れだが、常に好スタートから先頭又は好位にいるこの馬に心配はないだろう。あとは1200mのスペシャリスト（エイシンバーリン、フラワーパークら）との力比較だが、これらの馬が決して絶頂ではないだけに、どう考えても不動の軸馬だ。

今週はめでたく子供が産まれたので、以前言っていたとおり、紅白馬券で勝負です。なお子供の名前は、命名本を参考に、幸せを呼び込むという「さ」で始まる名前にしようと思っています。参考にされる方は念のため、サクラスピードオーを押えることを推奨します（でも外れても文句はなしですよ、四国の伊崎さん）。

栄蔵の一番弟子 TP

～TPの屁理屈～

このレースも堅いでしょ。タイキシャトルの強さは本物。強いときに強い外国産馬で、その勢いは一昨年のヒシアケボノ以上である。このレースまでは無事に突破するだろう。来年はわからんけどね。

では外国馬からいってみようか。今まで5頭しか出ていないので、データがあまりなく、当てにできないかもしれないが、とりあえず極意なるものを書いてみる。まず、頭に入れておかねばならないのは、外国はほとんどが左回りであるという点。短距離はGⅠでもほとんどが少頭数である点。又、外国のレースは、道中平均ペースでながれ、そのままスピードが落ちないでゴールすることが多い点、この3点である。この事と、中山の小回り右回りと、多頭数であること及び、過去の外国馬5頭の結果を考え合わせると以下のような極意を見出せる。

①速い馬場への適性があること（これはJCと同じである）

②差し馬であること

（日本のレースはテンのスピードがばかっ速く、ダッシュ力は日本馬のほうがあり、今まで逃げていた外国馬は逃げられないことが多い。突然差しに回っても今までワンペースのレースを続けてきた馬が切れ味を発揮できるわけではない）

③日本のコース形状を良く知っている騎手が騎乗すること

（日本のコーナーがきついことをしっかり実感してないとロスが多い）

④前走で、その年の目標としてきたレースを使っていないこと

（JCの場合、BCや凱旋門賞の余勢を駆って好走できるが、秋の大レースからかなり間隔があくので既にピークを過ぎていることが多い）

以上4点をあげ、今年の3頭について考えていこう。レシーバーはダート1200の時計が総じてメンズより2秒遅く、実績もなく、騎手も聞いたことがないのでまずいらない。メンズイクスクルーシヴは芝を走ったことがないが、ダート1200では計ったように8秒台で走っている。しかし、ダートの逃げ馬で、騎手も初来日。又、前走のBCスプリントでは20万ドルもの追加登録料を払っての出走であり、そこで完全に仕上げたのは当然。惨敗したため日本に来てみたという金目当ての来日であり、馬の調子は考えていない。前走1番人気だが地元開催によるものとの評価が多く、信用してはいけない。3年前、当時米スプリント界の3本指に入っていたソビエトプロブレムは同じようなローテ、脚質だったが惨敗。メンズはソビエトより数段階が下である。キステナはここ数戦牝馬のくせに60キロ以上背負わされており、今回の55キロは裸同然である。1000mを56秒台で走っており、速い馬場への適性もある。脚質も差だし、騎手も何回か来日しているジャルネで問題ない。しかし最大のネックは、直線だけのレースしか走っていない点である。中山の小回りを上手くコーナーリングできるのだろうか？また、ローテ的には去年ほどの成績（4歳最優秀スプリンター）をあげられないため、日本に回ってきたとも感じられる。外国馬の中で一番有力ではあるが...

ということで日本馬で十分戦える。筆頭はキョウエイマーチ。道悪も荒れた馬場も気にしない真のGⅠ馬である。その巨体、桜花賞のブッチギリぶり、マイルのHペースのままの2着確保。ここで潰れることは考え辛い。逃げなくても問題ない。

80%シャトルマーチで良いと思うが、一応日本の有力馬について考察すると、バーリンは逃げなくても2着できるほどの力をつけてきているが、それは直線が平坦の京都と中京での話。中山では厳しい。去年は連闘あけのGⅠではきついということから消したEワシントンが来て外してしまったが、それと同じローテで来たSハヤカゼ。去年はフラワーパーク以外は非常にレベルが低かったため連闘でもワシントンが来ただけで、今年は2頭が抜けている。また、もともとGⅠでは足りない馬。フラワーパークは調子を崩している牝馬だし、着順は叩き台としては悪くないにしても1秒以上はなされているし、どんなものか？ワシントンカラーはもともと芝ではGⅢレベル。いくらダートで圧勝したからといって買い被りはいかなものか？と、どうも有力馬に魅力がない。

まあどっちにしろ、もしもメンズががむしゃらに先頭に絡み、とんでもないHペースになってマーチがつぶれたらという条件付きであり、マーチ抜きにしたらどれでもいいのである。ということで、一応印は一杯つけるけど、一応未知の魅力ということでキステナとメンズと今の力のいる荒れた中山は得意と思われ、阪神が得意なことから直線の坂も歓迎材料のSフォレスト迄が実際に買う馬券。あとはどうでもいいよ。マスコミが外国馬人気を煽ってくれシャトルマーチで5倍ついたら超おいしい馬券だ。

◎…タイキシャトル ○…キョウエイマーチ

△…シンコウフォレスト、キステナ、メンズイクスクルーシヴ

スギノハヤカゼ、エイシンバーリン、ワシントンカラー

先週は全く当たる気がしなかったなあ。何とか調子を戻して今週、来週で挽回したいものだが...現在の回収率89.2%

イヤー先週は快心のビギナーズラック作戦大成功。配当はまたもや10倍以下だったが気持ちは良かった。さて今週は電撃の6ハロン、スプリンターズステークス。マイルCS1、2着の2頭が人気を集めそうだが今回はキョウエイマーチに軍配があがる予感。この距離ではタイキシャトルも捕まえられるまい。かといってタイキシャトルが惨敗するのも考えにくいのでここは得意の2軸買いだ。相手は一発屋のスギノハヤカゼはどうしても好きになれないので絶対にきるとして、ワシントンカラー、メンズイクスクルーシブ、レシーバーの3頭に流す。理由は簡単、私は来週米国に旅立つので(といっても留学が決まった訳ではありません)米国にちなんだ馬を選んだ。ワシントンカラーはその名のとおり首都名が絡んでいるから。そして残りの2頭はまったく知らない馬であるが米国から遠征してきたという単純な理由から。今回は自信満々。ウフッ。

◎キョウエイマーチ、タイキシャトル

△ワシントンカラー、メンズイクスクルーシブ、レシーバー

ライスシャワシャワの予想はよそう

◎…キョウエイマーチ、○…タイキシャトル、

△…ワシントンカラー、シンコウフォレスト、ヒシアケボノ

私事ながら、先週の朝日杯にて今年初めてG1を取りました。G1はおろか払い戻し機の前にはほとんど立ってません。この調子でなんとかスプリンターズSも当てたいものです。

外国馬が3頭出てきたが、先のJCとは違い、こちらはメンバー的にも寂しいもの。一応、ブリーダーズCで1番人気になった馬もいるが、直線コースでしか競馬をしてないのや、初の右回りだったり、不安だらけ。この程度の馬ならば、日本馬からがスジでしょう。数年前にも右回りが初めてだったソビエトプロブレムがコーナーで膨らみ、ジ・エンドということもあった。調教で走っているとはいえ、レースとは違う。こんな馬は買えません。

本命はキョウエイマーチ。桜花賞、オークス、秋華賞とことごとく軽視してきたが、2,000mのローズSを勝ち、秋華賞2着でただならないものを感じたこの馬にマイルCSで初めて◎を打ち、負けはしたもの、初の古馬・牡馬相手にあれだけの走りをしたのだから恐れ入る。テンの速さを見れば、距離短縮がマイナスになるはずもなく、前走でのシャトルとの差は詰まるどころか十分逆転できる。秋4戦目が気になるところであるが、スポーツ新聞で見る限り不安もなさそうで、調教は軽いがあくまでも輸送を考慮してのものであろう。この程度のメンバーならスピードで押し切れる。エイシンバーリンがいるが、むりに競う必要もなく、2番手追走から直線抜け出しで勝てる。

相手も今の充実ぶりを考えればタイキシャトル。GIII、GII、GIとこの秋順番に勝ってしまい、まさに天井知らずの勢い。この先どこまで強くなるか見物である。バーリン、マーチを先に行かせて余裕の好位追走から、先に抜け出しているマーチに坂を登ってからどれだけ迫れるか？

まあ、8割方この2頭の決着と見るが、以下、タイキ同様秋以降本格化した感じのするワシントンカラー、スピード決着になると不安はあるがこの距離のスペシャリスト・シンコウフォレストが押さえ。ないと思うが、調教は相変わらず動いているヒシアケボノが大穴かな？

予想はウソヨ 四国の井崎

グラスワンダーは圧巻。1分33秒6のタイムにはぶったまげた。タイム評価するとその日の500万クラス標準が1分35秒4だからなんと1秒8も速い。これは古馬G2でも通用する時計である。

さて、スプリンターズSは毎年タイムベースでよい成績なのだが、今年は難しい。外国馬のレベルが高いようなので、このあたりの評価はTP氏の説明を請いたい。日本馬の有力馬の実績評価ベース、タイムベースの評価を示します。

	PRJCT	3走前	2走前	前走	
フラワーパーク	0.40	-0.2	-0.7	-0.8	
タイキシャトル	0.50	+0.5	-0.1	-0.4	A
エイシンバーリン	0.50	-0.9	-0.7	-0.2	
ワシントンカラー	0.55	+0.1	+0.1	+0.2	B
キョウエイマーチ	0.65	-2.4	-0.7	-0.8	
スギノハヤカゼ	0.95	-0.2	-1.6	+0.4	C
シンコウフォレスト	1.00	-1.6	-0.7	-1.5	
エイシンガイモン	1.20	-0.7	-0.5	-2.0	

ここ目標のエイシンバーリンを応援したい。目標に向かって時計がグングン上昇しています。タイキシャトルだが、岡部の1200mはシンコウキングで勝っているとは言え出遅れ不安。横山なら自信の本命だったが。スギノもここ狙いだが、左回りが減法うまいので前走を高く評価は出来ないのと騎手で落とした。外国馬ではフランスのキステナか。ジャパンカップでフランス馬が絡まなかったのここは連対可能性大である。前回ヒットした枠順傾向。中山1200mは逆に外枠有利。差し馬の内枠は消しでしょう。

◎ エイシンバーリン ○ タイキシャトル

▲ ワシントンカラー △ キステナ

第31回 スプリンターズS

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
					タイキシャトル	キョウエイマーチ	エイシンバーリン	シンコウフォレスト	ワシントンカラー	エイシンガイモン	ヒシアケボノ	ビコーアルファ	レシーバー	コクトジュリアン	サクラスピードオー	キステナ	ホクトファイバース	スギノハヤカゼ	メンズイクスクルーシブ	フラワーパーク	馬名
					岡部	松永幹	吉田	四位	柴田善	蛭名正	中館	ロバ	マルチ	小林久	的場	ジャルネ	安田富	田島裕	マトス	田原	騎手
					◎	△	○	△	△							△		△		△	トウインクルダナンディ
					◎	△		△										◎		△	ドロンジョ
					◎	○	△	△	△							△		△	△		TP
																					おけらくん
					◎	◎			△				△						△		ふえら
					◎	▲	△	△								○		△		△	YO
					○	△	△		▲	△						△			◎		へなりん
					○	◎		△	△		△										ライスシャワ
																					ミスターX
					◎	△	△									▲		○		△	心配御無用!
					△	◎			▲					△				○			ラッキー
					△	△			◎								△		◎		アイニワタ

来週は、いよいよ今年のフィナーレ有馬記念です。日ごろ寄稿してない人も、当たってる人も、全然当たらない人も、皆さんの寄稿をお待ちしております。